

式 辞

ただいま、中学校九五名・高等学校二五九名の生徒の入学を許可いたしました。保護者の皆様、ご子息・ご令嬢の入学、誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。新入生の皆さん入学おめでとう。

通常であれば、多くのご来賓のご臨席を賜り、中学校第十三回・高等学校第五五回入学式を一同に挙行するところでありましたが、コロナ禍ゆえの対応、時間短縮での実施とさせていただきますこととなりました。ご理解をいただければ幸いです。

さて、二松学舎は明治一〇年以来、今年創立一四六年の歴史と伝統のある学校です。皆さんがこうした本校の一員として、誇りと自信を持って充実した中学校・高等学校生活を送ることを、我々教職員は強く願っております。

今新入生の皆さんは、新たな出発に向けて大きな夢と希望で満ちあふれていることでしょう。また新学期に対する期待と緊張そして不安とが入り交じり、感慨ひとしおのことと思います。中高の時期には、自分を見つめる目もでき、心身ともに大きく成長し、人生の大切な基礎が作り上げられます。限りない可能性、それは皆さんの一人ひとりが持っている若さの特権でもあります。またこの時期の友人は人生の宝であり、青春の証となるものです。出会いを大切にさせていただきたいと思います。本校は校訓である、仁愛（人への思いやり）・正義（人間のふみ行うべき正しい道）・誠実（うそ偽りのないまごころ）の精神、教育目標である（自律をはかり、主体性を身につける）（思いやりのある人間性を身につける）（社会への関心を高め、豊かな国際性を身につける）を大切に、一人ひとりが夢や希望を見つけ、それに向かってまっすぐに進んでいける確かな学力と強い心、そして自分の考えを正確に人に伝える表現力と、相手の気持ちを理解できる思いやりあふれた温かな人間性を身につけることを教育の特色としております。目標に向かい大いに頑張り、充実した中高生活を送っていただきたいと願っております。

そこで本日、中高生活のスタートに当たり、改めて皆さんに五つのことを強く希望したいと思います。第一に、学習に積極的であれということです。学校での授業、自宅での予習復習など、主体的計画的な意欲を持った学習に努めてほしいということです。第二に、生活習慣を確立し、規律を守るとということです。自覚的規律をもち、思いやりのある温かく力強い人間として、成長してほしいということです。第三に、目標を明確にせよということです。将来、社会において果たすべき使命を自覚し、個性に応じた進路を決定するために、志を高く掲げ、明確な目標を持ち、計画的な日々を送ってほしいということです。第四に、国際社会に貢献する人間としての素養を身につけよということです。二一世紀は国際化の時代であり、若き皆さんの時代です。変化する国際社会に、柔軟に対応して生きぬくことのできる人間の資質育成が今望まれています。グローバルな視点に立って貢献できる人間として、大きく育たねばなりません。最後に、お互いを高めあう、真の友人をつくってほしいということです。自分にないものを友から学び取り、自分を向上させてください。友を信頼し、素直に接することによって、一生涯の友を得ることになるのです。以上の五つより、皆さんが将来の自己実現に向けての基礎固めを、しっかりと行ってくれることに期待をいたします。

皆さんが学ぶ論語に[歳寒くして、然る後に松柏の彫むに後るるを知る]とあります。一年で一番寒い時期になり、そこではじめて松や柏が落葉しないことに気が付く。人も大事に遭遇してはじめて、その人の本当の価値が現れるというものです。レジリエンス（復元力）を備え、力強く成長してください。

以上、本校での生活が実り多いものとなりますことを重ねて祈念して式辞といたします。

二〇二三年 四月七日

二松学舎大学附属柏中学校・高等学校
校長 七五三 和男